取扱説明書



LEDスポットライト

(ダクトレール専用・一般屋内用)

で使用になられる前に必ずお読みください

安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。 :取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具(簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く)及び配線器具の取り付け工事は 必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ:工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください

■仕様

品名	本体色	別売ランプ・ロ金 E11	วิ)ว No.	ランプ型名	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流	調光
SN-4464	白色塗装	φ50 LED電球 ダイクロハロゲン形 ≪非調光≫×1灯	278E	LDR6L-M-E11/W/R90 電球色相当	AC100V (±6%)	50/60Hz	5.8W	0.09A	非調光
			278F	LDR6L-M-E11/B/R90 電球色相当					
		φ50 LED電球 ダイクロハロゲン形 ≪調光≫×1灯	278AN	LDR6N-M-E11/D/W/R90 昼白色相当			5.8W	0.068A	位相調光
			278BN	LDR6N-M-E11/D/B/R90 昼白色相当					
			278AW	LDR6WW-M-E11/D/W/R90 温白色相当					
			278BW	LDR6WW-M-E11/D/B/R90 温白色相当					
			278AL	LDR6L-M-E11/D/W/R90 電球色相当					
			278BL	LDR6L-M-E11/D/B/R90 電球色相当					
			278CN	LDR6N-W-E11/D/W/R90 昼白色相当					
			278DN	LDR6N-W-E11/D/B/R90 昼白色相当					
			278CW	LDR6WW-W-E11/D/W/R90 温白色相当					
			278DW	LDR6WW-W-E11/D/B/R90 温白色相当					
			278CL	LDR6L-W-E11/D/W/R90 電球色相当					
	黒色塗装		278DL	LDR6L-W-E11/D/B/R90 電球色相当					
SN-4465			278N	LDR4L-M-E11/D/C/R90 電球色相当			3.8W	0.044A	
			298P	LDR6L-M-E11/D/W/3 電球色相当			CVA	00654	
			298R	LDR6L-M-E11/D/B/3 電球色相当			6W	0.065A	
		φ50 LED電球 ダイクロハロゲン形 ≪Bluetooth®調光・調色≫×1灯	278CB	LDR6L-W-E11/B/CCT/W/R90			5.7W	0.095A	* 調光•調色
			278DB	LDR6L-W-E11/B/CCT/B/R90					
		φ70 LED電球	279AN	LDR9N-M-E11/D/W/70/R90 昼白色相当			9.4W	0.095A	位相
			279BN	LDR9N-M-E11/D/B/70/R90 昼白色相当					
		ダイクロハロゲン形	279AW	LDR9WW-M-E11/D/W/70/R90 温白色相当					
			279BW	LDR9WW-M-E11/D/B/70/R90 温白色相当					
			279AL	LDR9L-M-E11/D/W/70/R90 電球色相当					
			279BL	LDR9L-M-E11/D/B/70/R90 電球色相当					

※1回路の最大接続台数は20台(100V入力時)までです。(定格15A配線器具使用時)

●白熱電球の使用不可

*Bluetooth®調光・調色型LED電球

お手持ちのスマートフォンまたは別売の専用リモコンで、調光と調色ができます。調色範囲は昼光色~電球色です。

スマートフォンでの利用を含めて弊社ホームページ(https://www.yamada-shomei.co.jp/products/connected)で詳細確認してください。

調光機器*は使用できません。 * 調光機器:調光器、調光型センサー、調光リモコンなど

上のご注意 必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、 人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換を

したりしない 火災、感電、落下の原因になり





●浴室等の湿気の多いと ころや屋外などでは使 用しない

火災、感電の原因にな ります。



●布や紙などで覆ったり、燃えや すいものを近づけたりしない 火災の原因になります。

●器具の隙間や放熱穴にものを 差し込まない

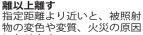
火災、感電の原因になります。

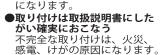
●重量に耐えるところに確実に 取り付ける

落下によるけがの原因になり ます。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

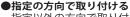
●器具と被照射面の間は指定距





●電源接続は取扱説明書にした がい確実におこなう

接続不良による火災の原因になります。



指定以外の方向で取り付ける と火災、感電、けがの原因に なります。



必ず 実施する

●指定のランプを使用する 指定以外のランプは火災の原 因になります。

●ランプ交換やお手入れの際に は電源を切る 感電の原因になります。

●異常を感じた場合は速やかに 電源を切る

異常状態がおさまったことを 確認し、販売店または工事店 にご相談ください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

必ず

実施する



●水洗いしたり、スプレー式洗剤 をかけたりしない

故障、感電、火災の原因になり ます。



●腐食性ガス・粉じんの影響を受 ける場所、振動の多い場所では 使用しない

損傷、過熱、火災、感電、落下 の原因になります。



●ストーブなど温度の高くなる ものを器具の真下に置かない 故障、火災の原因になります。

■蒸気や熱気の上がる煮炊きな どの調理を器具の真下でおこ なわない

故障、火災の原因になります。



●点灯中や消灯直後のランブ および器具にさわらない やけどの原因になります。



●表示された雷源雷圧で使用する 火災、感電の原因になります。

●雷源工事は必ず販売店・工事店 (有資格者)に依頼する -般の方の電源工事は禁止され ています。

●定期的に清掃、点検をする 不具合を発見した場合は使用を 中止し、販売店・工事店に修理 を依頼してください。



施工上のご注意:※壁面または傾斜天井に取り付ける場合

壁面または傾斜天井に取り付ける場合は、ライティングダクト およびライティングダクトカバーを別途ご用意ください。



ライティング ダクト



ライティング ダクトカバー

ライティングダクトカバーは必ず使用してください。 カバーを取り付けないと火災・感電の原因となります。

人が容易に触れるおそれのある場所にライティングダクトを取り付ける 場合は、電源側に漏電遮断機を設置してください。

- ●漏電遮断機は定格感度電流30mA以下、動作時間0.1秒以内のものに限ります。
- ●電気設備技術基準解釈および内線規程で定められている条項を満足する場合は 設置工事は不要です。

電気設備技術基準解釈「ライティングダクト工事」第165条 内線規程 「ライティングダクト配線」3150節

ライティングダクトの設置の際は以下の 点をお守りください。





突起部(下向き)

突起部(上向き)





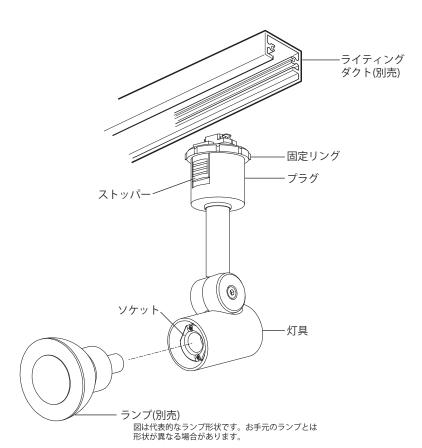


調光器を接続したライティングダクトには「調光器接続済み」などの表示をおこなってください。 ⚠注意 非調光器具(または非調光ランプ)やBluetooth通信器具(またはBluetoothランプ)を誤って使用した際、 器具破損やチラツキの原因になります。

各部の名称

この取扱説明書の図は一部抽象・省略化した共通図です。お求めの器具とイラストは違っている場合があります。

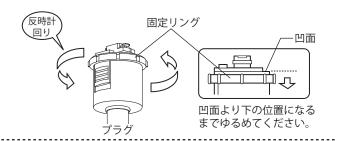
照射面近接限度 0.1 m



4 器具の取り付け

●安全のため、電源を切ってから取り付けてください。

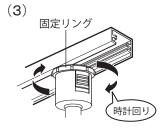
[1] 固定リングをゆるめる



[2] プラグを取り付ける

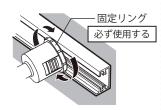






プラグをより確実に固定させたい場合は固定リングをしめてください。

※固定リングは必要以上に強く しめつけないでください。 壁面または傾斜天井に取り付ける場合は、必ず固定リングを使用してください。



壁面または傾斜天井

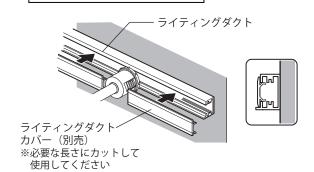
【プラグのはずし方】

- ① (固定リングをしめている場合は)固定リングをゆるめてください。
- ②ストッパーを押し下げながら 反時計回りに90° まわしてください。



[3] ライティングダクトカバー(別売)を 取り付ける

※壁面または傾斜天井の場合のみ



⚠警告

カバーはプラグ取付部を除いたすべての場所に はめ込んでください。 火災・感電の原因となります。

[4] ランプ(別売)を取り付ける。

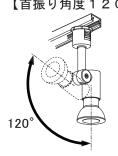
- (1) ランプをソケットに時計回り方向にねじ込み 確実に取り付けてください。
 - ●ランプを必要以上に強くねじ込まないでください。 破損するおそれがあります。
- (2) 電源を入れて点灯を確認してください。



5 |灯具の可動範囲

灯具を可動させる場合は必ず 電源を切り、しばらく時間を おいてからおこなってください。

●図は天井面に取り付けた場合です。



【首振り角度120°】【回転角度360°】



* 首振りが緩んでしまった場合は、 六角レンチ(別途)で六角穴ボルトを 締め付けてください。

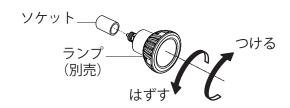


6 スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

7 ランプ交換

[1] ランプを交換する



はずし方:ランプを左に回すとソケットからはずれます。取付方法:ランプをソケットに合わせて右にねじ込みます。

●ランプを必要以上に強くねじ込まないでください。 破損するおそれがあります。

8 保守・点検・その他の留意点

[1] LEDについて

- (1) LEDには光のバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- (2) LEDを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- (3) 器具のきわめて近くで、赤外線リモコン方式のテレビ等の機器を使用すると、リモコン操作に影響を与える場合があります。
- (4) 器具を山間部、鉄筋建物等の電波の弱い地域でご使用する場合、音響、映像機器に影響を与えることがあります。 特に器具の近くでのラジオの使用はお避けください。雑音が入る場合があります。
- (5) ホタルスイッチは3個までとしてください。 4個以上では、スイッチを切ったときにランプが点滅したり暗く点灯することがあります。また壁スイッチ点灯 切替機能付きの器具は、正常に切替ができない場合があります。

[2] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
 - ※汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤分が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
 - ※木材、紙、布などは水拭きせずに、柔らかい布またはは たきで、こまめにほこりを落としてください。
 - ※スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因になります。必ず布に含ませてご使用ください。
 - ※シンナー・ベンジン等ので使用はお避けください。 器具が変色・変形する場合があります。
- (2) 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃をおこなってください。

[3] その他の留意点

- (1) 点灯中や消灯時間直後、プラスチックの伸縮により 若干のきしみ音が発生することがありますが、異常 でははありません。
- (2) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (3) 長期間で使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
 - *直射日光を避けて0~35℃の温度範囲で保管してください。 *ほこりの多い場所での保管は避けてください。
 - *35~85%の湿度範囲で保管してください。
- (4) 廃棄の際、工具を使わずに取り外しできる部品(カバー、 ガラスグローブ等)は分別して各自治体のルールにしたがっ て廃棄してください。

[4] 照明器具の耐用年限について

⚠ 注意

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の 劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 (JIS C 8105-1 解説による)

※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は器具の耐用年限が短くなります。

- ・1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- ・点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれ があります。

「安全チェックシート」および「耐用年限」につきましては弊社ホームページ (https://www.yamada-shomei.co.jp) で紹介をしています。

■LEDモジュールの光束維持時間について

LEDモジュールの光束維持時間(※)は、40,000時間です。 (照明器具の耐用年限とは異なります。)

※点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

■アフターサービスについて

で使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、で使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。